



ポストドクター等の雇用状況と進路動向

[情報提供]

科学技術政策研究所 第1調査研究グループ

三須 敏幸

■ 内容 ■

- ① 我が国のポストドクター等の雇用状況と事例
- ② ポストドクター等の進路動向とキャリアパス多様化

第三期科学技術基本計画における「ポストドクター」に関する記述

ポストドクター等1万人支援計画が達成され、ポストドクターは今や我が国の研究活動の活発な展開に大きく寄与しているが、ポストドクター後のキャリアパスが不透明であるとの指摘がある。

このため、

- 研究者を志すポストドクターは自立して研究が行える若手研究者の前段階と位置付け、若手研究者の採用過程の透明化や自立支援を推進する中でポストドクター支援を行う。
- また、ポストドクターに対するアカデミックな研究職以外の進路も含めたキャリアサポートを推進するため、大学や公的研究機関の取組を促進するとともに、民間企業等とポストドクターの接する機会の充実を図る。

科学技術政策研究所におけるポストドクター等に関する各種調査

■ 調査資料-137 「大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査－平成18年度調査－」(平成19年6月)

悉皆調査により、全国の大学・公的研究機関等に在籍するポストドクター等の雇用状況(全体数、男女比率、外国人比率、年齢別・財源別・分野別特徴など)を把握することを目的として、平成16年度以降継続して実施。

■ 調査資料-148 「ポストドクター進路動向8機関調査」(平成19年11月)

ポストドクターのキャリアパスの現状については不明な点が多いことから、文部科学省「科学技術関係人材キャリアパス多様化促進事業」採択8機関の協力を得て、ポストドクター終了後の進路動向を把握することを目的として実施。(採択8機関に所属していたポストドクター等のほぼ全数の進路動向に関する情報を得た。我が国のポストドクター等総数の約4分の1に相当。)

■ 調査資料-152 「インタビュー調査:ポストドクター等のキャリア選択及び意識に関する考察」(平成20年1月)

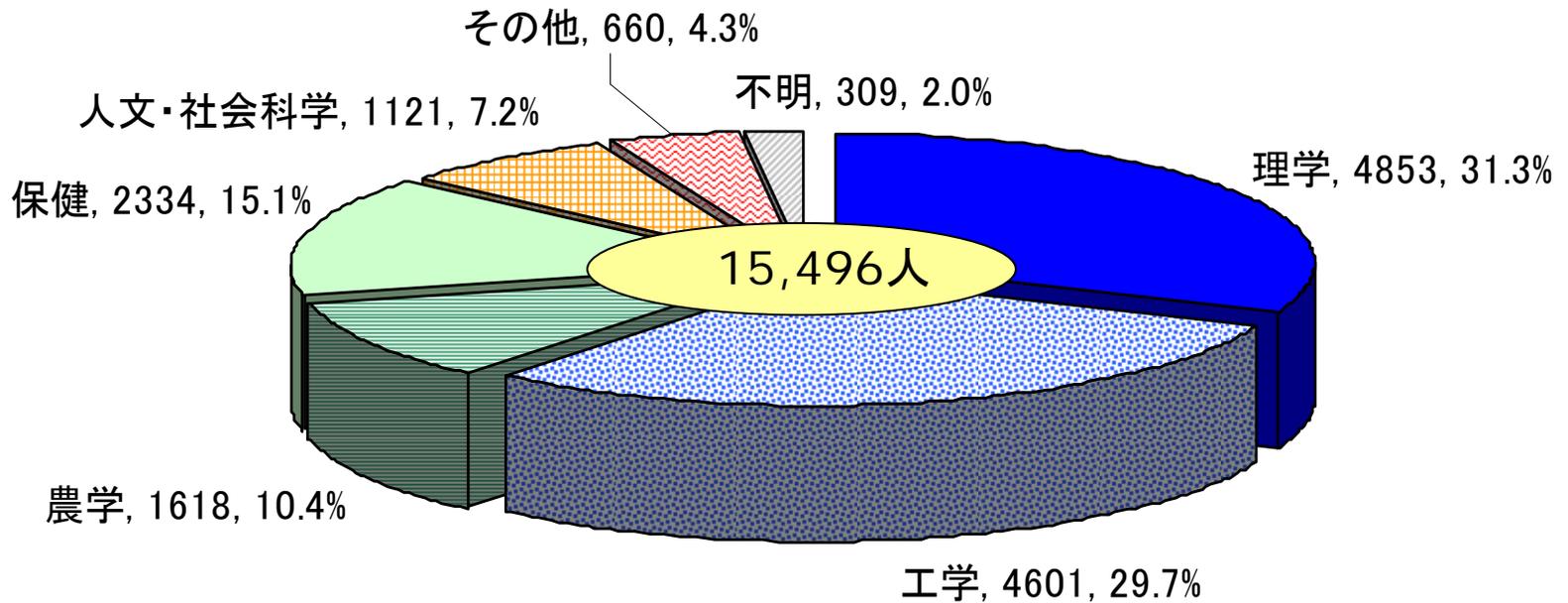
35歳以上の高年齢層や女性のポストドクター等を中心に、その具体的事例を把握するとともに、ポストドクター等の進路選択の特徴などについて考察する目的で、関東地域の大学で研究活動に従事しているポストドクター等68人に対してインタビュー調査を実施。

■ 「ポストドクター等の研究活動・生活意識調査」(分析中)

ポストドクターの研究活動実態(給与、任期、論文等生産性、研究室環境など)、生活環境(家族構成、社会活動など)、キャリア意識(履歴、進路希望など)などについて把握することを目的として、我が国のポストドクター等の約1割をサンプリングし、WEBアンケート調査を実施。依頼総数1,564人、回答者数1,035人。

ポストドクター等の分野別雇用状況(平成17年度実績)

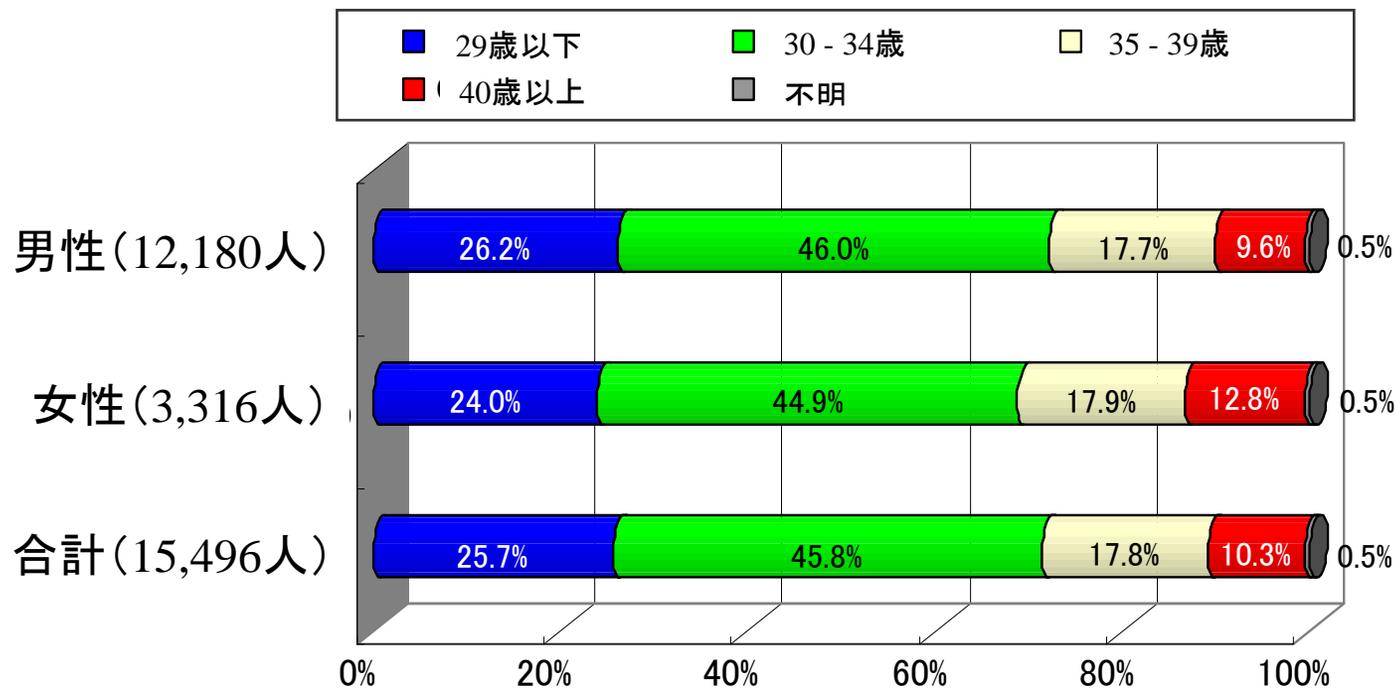
出典: 科学技術政策研究所 調査資料-137「大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査」



- 我が国のポストドクター等は15,000人(平成17年度実績)を超える。
- 我が国のポストドクター等の6割が、理学と工学分野で研究活動に従事。

ポストドクター等の年齢構成（平成17年度実績）

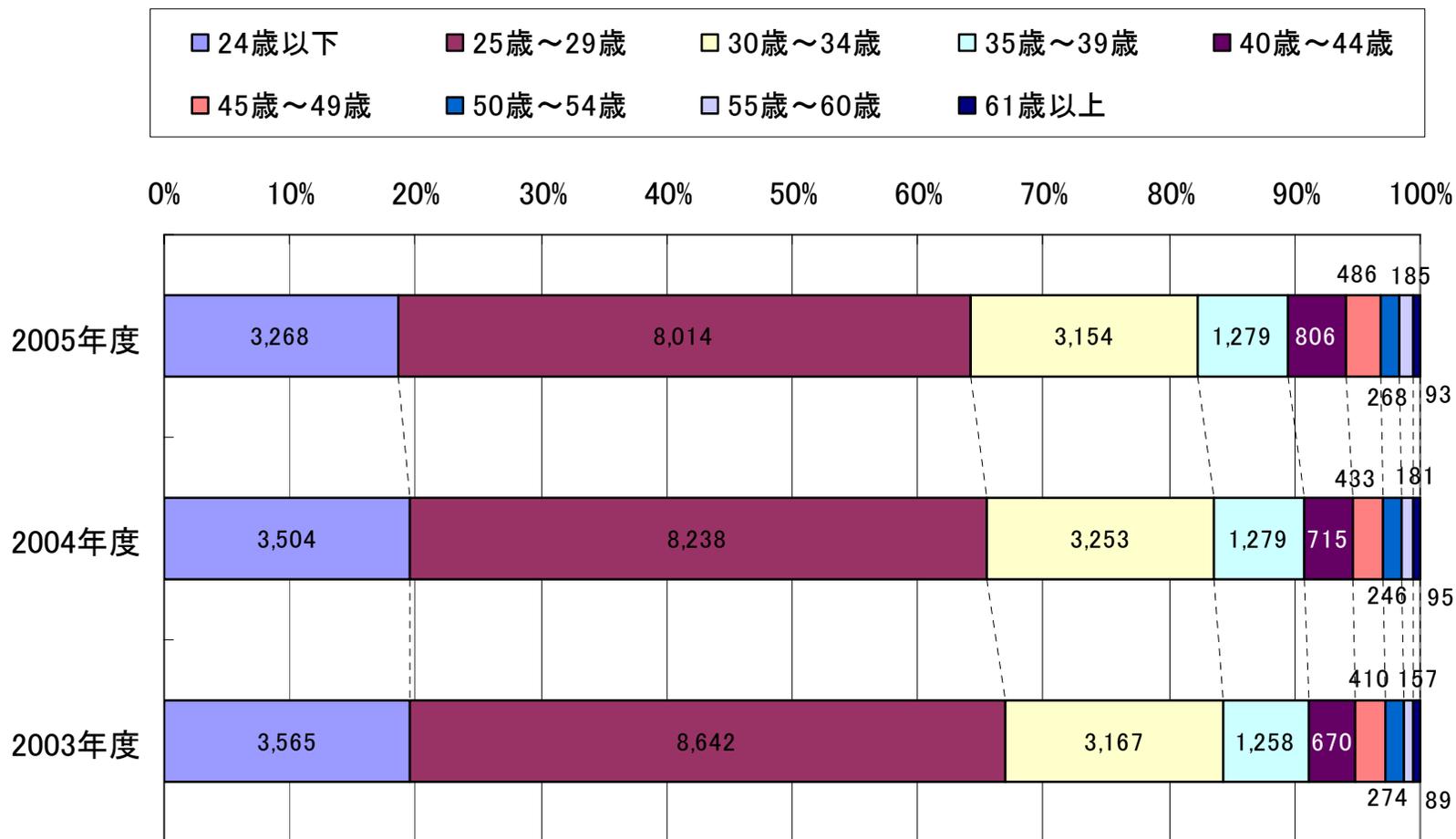
出典： 科学技術政策研究所 調査資料-137「大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査」



- 30～34歳のポストドクター等が最も多く、35歳以上のポストドクター等は28%を占めている。
- 女性のポストドクター等の方が男性よりも高い年齢層の割合が高い。

[参考] 大学院博士課程進学者の年齢構成(学校基本調査より作成)

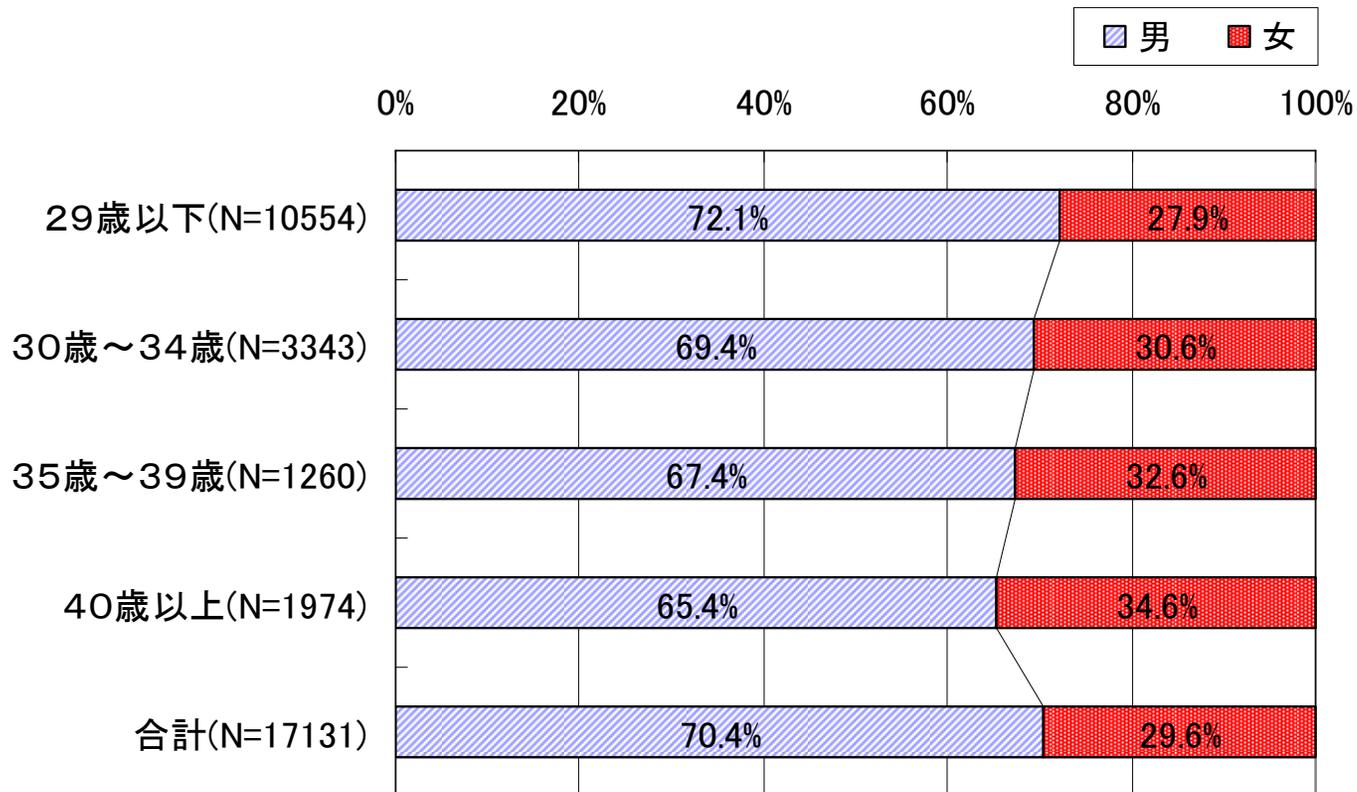
博士課程進学者のうち30歳以上は約35%を占めている。



(注) 社会人を含む。

[参考] 大学院博士課程進学者の年齢別女性比率(学校基本調査より作成)

博士課程進学者(平成18年度)に占める女性の割合は、年齢とともに上昇。

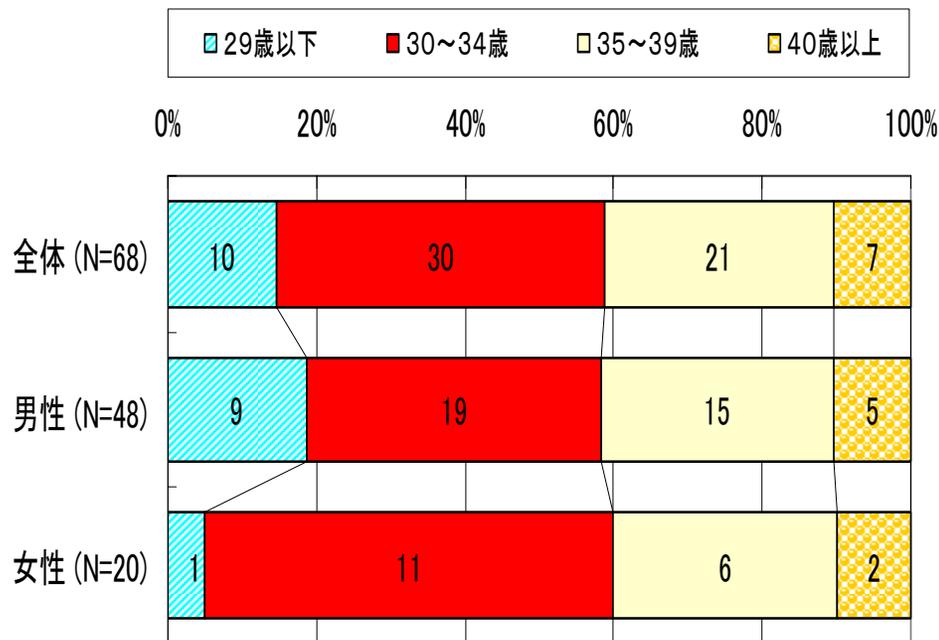


ポストドクター等の具体的事例(インタビュー調査)

出典: 科学技術政策研究所 調査資料-152「ポストドクター等のキャリア選択と意識に関する考察」

関東地域の大学及び大学共同利用機関の合計12機関に所属するポストドクター等計68人への面接調査を実施(期間:平成18年10月～平成19年1月)。

【インタビュー対象者68人の年齢構成】



※平均年齢は34歳。男性の最年長／最年少は46歳／28歳、女性は55歳／28歳。

【社会経験の有無】

社会経験年数	男性	女性	合計
1年未満	1	1	2
1年以上、3年未満	5	1	6
3年以上、5年未満	5	1	6
5年以上	6	3	9
合計	17	6	23

(単位:人)

(注)社会経験:ポストドクター以外の職の経験

多様なキャリア経験を有するポストドクター等が比較的多い。

ポストドクター等の具体的事例(インタビュー調査)(続き)

【研究職への応募の際に障害と感じている点(複数回答可)】

障害になると感じている点	全体	男性	女性(うち子供有)
研究職を希望しないので、該当しない	1	0	1(0)
採用時の年齢制限	31	24	7(4)
家庭の事情などにより、応募できる範囲(地域や雇用条件など)が限られている	12	5	7(5)
上司(指導教官)などからの支援(推薦など)が受けられない、または受けにくい	2	2	0(0)
その他	12	10	2(0)
特になし	17	12	5(1)
未回答	3	3	0(0)

(単位:人)

【研究職以外の職業への就職活動に際して、不足していると思われる情報・支援(複数回答可)】

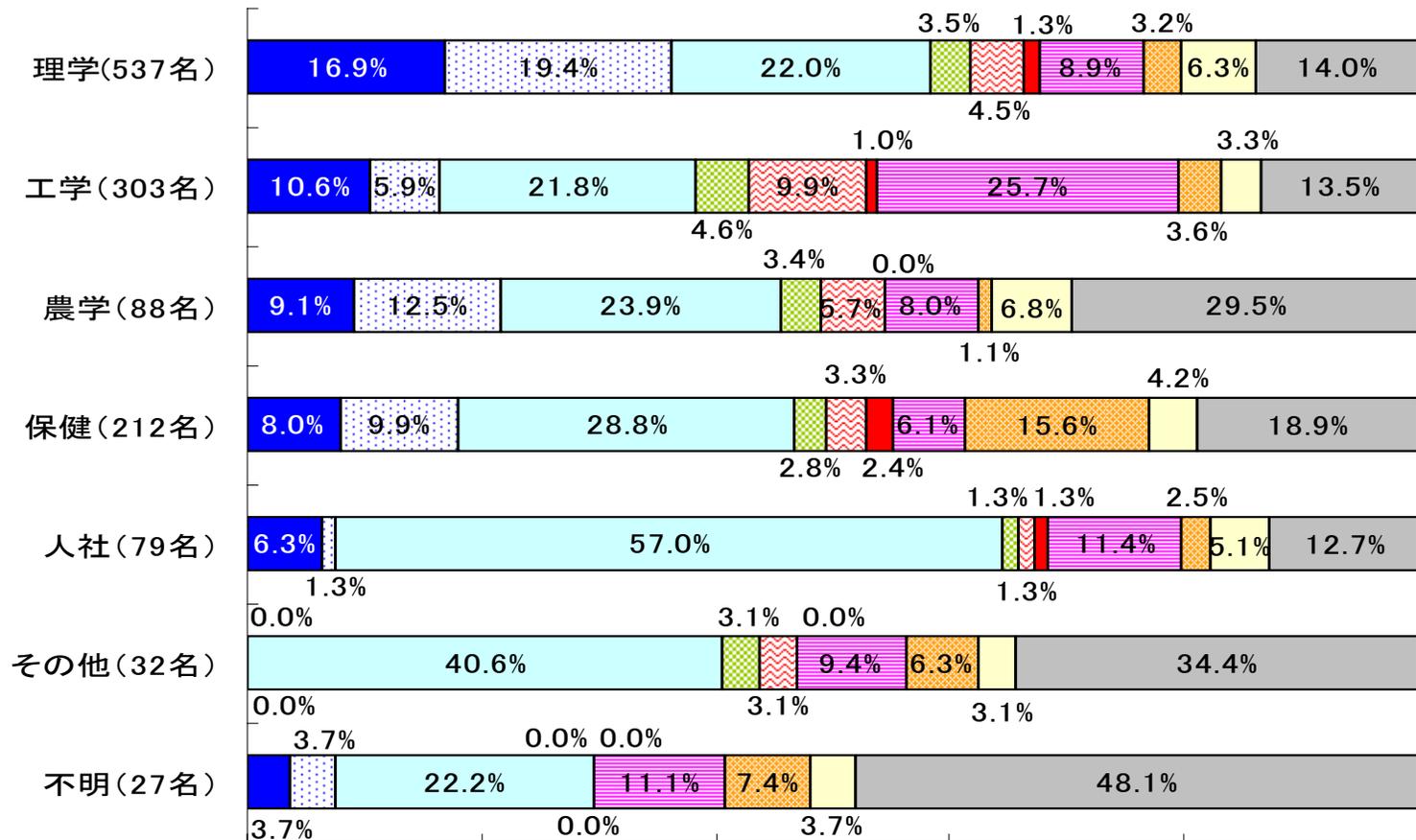
不足していると思われる情報・支援	全体	研究職以外の職業にある程度興味がある者	研究職第一希望
研究職しか希望していないので、該当しない	17	2	17
就職活動の基礎知識(応募書類の書き方やマナーなど)	7	4	6
研究職以外の職業に関する基礎的な情報(一般的な職務内容や必要な資格など)	11	7	9
企業等がポストドクターに求める人材像などの情報	19	14	15
研究職以外の職業で活躍するポストドクター経験者のキャリアパスなどに関する情報	17	13	14
ポストドクターが応募可能な公募(求人)情報	24	16	20
進路カウンセリング	4	2	3
就職に向けたトレーニング(能力開発やスキル取得など)	7	4	5
その他	0	0	0
特になし	14	8	12
未回答	3	1	2

(単位:人)

ポストドクター等の進路動向(分野別)

出典： 科学技術政策研究所 調査資料-148「ポストドクター進路動向8機関調査」

【転出・転職者(同一機関でポストドクターを継続している者を除く)の職業内訳】



- 他機関のポストドクター(国内)
- 他機関のポストドクター(国内以外)
- 大学研究者(国内)
- 公的研究機関研究者(国内)
- 民間研究・開発者(国内)
- その他の研究・開発者(国内)
- 国内以外の研究・開発者
- 専門知識を要する職
- その他
- 職業不明